



## しんこうしゃ とは、しんらい し、しんらい される ひと の こと

しんあい なる ムスリム の みなさま！

ろうどくした しょうく の なか で、ぜんのおの しゅ（スプハーナ ワ タアーラー）は つげて おられます。「しんこうしゃ の こころ に せいひつ を くだし、それにより かれらの しんこう とともに さらなる しんこう を ます おかた。」<sup>1</sup>

また、ハディース の なか で、あいすべき よげんしゃ 是 は こう かたっています。「あなたがた の なか で もっとも すぐれている のは、ぜんりょう さ が きたい されている もの、また あく から ひとびと が あんぜん に まもられている もの の こと である。」<sup>2</sup>

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

うまれた しゅんかん から、だれもが あんしん と あんぜん を もとめています。あくからは みを まもり、ふあん や しんぱい が なくなる ことを ほっします。あんぜん な ばしよで、へいわ に くらそう と けんめい に どりよく します。これは、「あんぜん である」という かんかくが、しんこう を えた あと で ぜんのおの アッラー（スプハーナ ワ タアーラー）から さずかる さいだいの しゅくふく でもある から です。

しんあい なる ムスリム の みなさま！

しんこうしゃ とは、その ことば と こうい において しんらい に たる ひと の こと です。きょうだい、しまいに あんしんかん を あたえる しんこう の とりで です。じぶん の ちからの かぎり、あらゆる ものごと、あらゆる ひと に たいして せきにん の ある ことを じかく しています。わたしたちは、しんこう には しんらい が ともなう もの と しんじて います。しんこうしゃ とは、しんらい し、しんらい される ひと です。この せかい が にんげん の て に ゆだね られて おり、また にんげん は おたがいの て に ゆだね られて います。この てん について、アッラー の しと 是 は「ムスリム と は、だれ に とっても その した（ことば）と て（こうい）が あんぜん な もの の こと であり、しんこうしゃ とは、ひとびと が じぶん の せいめい と ざいさん に かんして あんしん できる もの の こと である」<sup>3</sup> と かたっています。だからこそ、しんらい を そこねる ような こうどう を とったり、たにん の せいめい や ざいさん に きがいを くれえ たり しよう と するのは、じゅう だいな つみ となる の です。

こんしゅう の きんよう れいはいの ホトバ を、つぎ の しょうく を もって おわります。ヒジユラ の さい の もっとも こんなん な とき に、よげんしゃ 是 が どれほど アッラー を しんらい していたか を あらわして います。

「かれ と もう ひとりの ふたり で どうくつ の なか に いた とき、かれ は なかま に いった。『なげく こと は ない。アッラー は わたしたち とともに ある』。その とき、アッラー は かれ の うえ に おんみずから の へいおん を くだした ……」<sup>4</sup>

<sup>1</sup> Fath, 48/4.

<sup>2</sup> Bukhari, Adab, 57.

<sup>3</sup> Tirmidhi, Iman, 12.

<sup>4</sup> Tawbah, 9/40.